所属 福祉こども部 障害者福祉課

事務	241601	<b>障宝</b> 和		日促進	 事業							
事業	事業区分		実施計画事業		施策体系		241610	障害福				
	必要性		非常に高い		効率性		高い					
区分	方向性(第-	-次)	改善·効率化	改善、	効率化の内	容	強化戦	略	方向性(第二次)			
対象	障害者											
									利用により、住み慣れた家 区分を定めます。	<b>戻や地域</b>	で安	
事	事務事業内容		障害福祉サービスの提供にあたり、利用者の障害の状況を把握するため、障害支援区分認定調査員を雇用して認定調査を行うとともに、認定審査会の開催により障害支援区分を決定します。									
3	実施形態	直営										
J	成果指標	<b>令和元年度実績:</b> 224人										
;	舌動指標	(活動指標1)障害支援区分認定 <del>審</del> 查会開催回数										
		令和元年度実績: 12回										
					事業コ	コスト語	†算					
事務	事業費予算額		7.	,406,0	000 円	F	R1 事務分	担表によ	る「事務に係る人数」	2.38	人	
	事業費決算額			,591,4		_			る「事務に係る人数」	2.31	人	
予定信	古			<u> </u>	, -	7	確定値					
	事業費		7	,406,0	000 円	_	唯足他 直接事業費	3	7 [	591,465	円	
人件劉				,616,9			人件費	-	-	579,593		
総額				,022,9			公田 <u>元</u> 総額			271,058		
	見直し実績	窓口での様々な相談に対して、適切な助言や必要なサービスが何であるかの判断が迅速・正確にできるよう に職員は専門的な研修を受けている。また、スムーズに認定審査にかけられるよう聴き取り・手続きを行い、認 定調査員に繋げている。認定調査員も速やかに調査し、認定審査会にかけている。										
事	内部要因 外部要因	(強み) 認定調査員による調査、審査会により適切な支援事務を行っている。研修会に参加し、内容の共有を図っている。 (ニーズ) 障害児の利用者も含め、障害サービスの申請が年々、増加しており、更に訴えの内容も多様化し										
務事	必要性	ている。 障害者総合支援法に基づく障害支援区分の認定事務であり、障害福祉サービスの提供には必要不可欠である。										
業	効率性	障害支援区分の認定にあたっては、専門的な知識や経験を必要とするため、専従の職員を配置した現行の 人員体制は効率性が高い。										
評価	年々、申請が増加し、訴え内容が多様化していることから、障害者総合支援法に基づくサービス支総 <b>方向性</b> 正確かつ迅速に行っていくために、職員や認定調査員のスキルアップを図る。							ごス支給決	 !定を			
							+左左 1.0					

方向性

く。

所属 福祉こども部 青い実学園

<b>事務</b> 241606	青い実	学園療育事業	167								
事業区	分	実施計画事業	施策	体系	241620	障害者	(児)支援施設の充実				
必要性 区分	Ė	非常に高い		<b>経性</b>	普通	<u>1</u>					
方向性(第·	一次)	改善·効率化	改善、効率	区化の内容	改良單	戊略	方向性(第二次)_				
対象市内在住の発	達につま	ずきのある未就:	学児								
事務事業目的		つまずきのある! 会性・知識を身					かな社会生活が送れるよう行います。	う、基礎的な技			
事務事業内容	学園に在籍する子どもたちに対し、障害や発達段階に応じた個別支援計画を作成し個別的療育を実施するとともに、親子通園を通じ保護者の育児支援及びメンタルケア、障害への理解の促進、情報提供を行います。学園と幼稚園・保育所を併用している子どもたちに対して、機関相互の連携を図り、幼稚園・保育所のみに在籍する発達が気になる子どもたちに対しては、保育所等訪問支援を行います。また、学園在籍児以外の発達が気になる子どもたちに対する外来療育相談を行います。										
実施形態	直営										
<b>光田</b> 化插	利用者	利用者数									
成果指標	<b>令和元年度実績:</b> 59人										
活動指標	(活動指標1)心身障害児への直接的な療育及び保護者支援(児童発達支援事業) (活動指標2)在籍児以外の心身障害児の保護者に対する外来療育相談 (活動指標3)保育所等訪問支援事業										
	令和元	元年度実績:	活動指標	1:3,29	4件 活動指	<b>≦標2</b> :	936件 活動指標 3:	140件			
				事業コス	ト計算						
事務事業費予算額		41,	.650,000	円	R1 事務分	担表によ	る「事務に係る人数」	21.40 人			
事務事業費決算額		<u> </u>	,383,399		R2 事務分	担表によ	はる「事務に係る人数」	21.35 人			
<b>P</b> 定値		<u> </u>			確定値						
を に 直接事業費		41.	.650,000	円	直接事業費	<b>事</b>	36.3	383,399 円			
<del>- グライス</del> - 人件費			387,446		人件費	_	-	544,725 円			
<del>************************************</del>		•	,037,446		総額		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	028,124 円			
見直し実績	め、居	1年4月1日よ	り重度の障 発達支援事	 害などの 事業が行え	える事業所とし		けるために外出することが「 受けた。また、外部講師を	困難な児童の			
事 内部要因 外部要因	(ニーズ) 障害福祉サービスや支援施設等を利用する人が増加傾向になる。 (強み) 専門職による相談、療育、支援ができる。 (弱み) 知識や経験、ノウハウの伝承や専門的な職員の育成に時間がかかる。										
務	心身の発達につまずきを持つ就学前の児童と、その保護者に対して、個々の能力に応じた療育支援を行い、 豊かな生活を送ることができるよう、基礎的な能力向上を図るとともに、保護者に対して相談支援を行う必要 がある。										
事		0									
事 必要性 業 効率性	がある。 在園児	記に対し療育支					見童に対する外来療育相 など、専門性を生かした事				

するためにも専門知識を兼ね備えた職員の確保に努め、ノウハウの伝承や専門的な職員の育成を行ってい

所属 福祉こども部 障害者福祉課

事務	241611	地域	 活動支援センタ-	- (精神小規模	型) й	<b>重営費補助</b> 事	事業					
事業	事業区分				241620 障害者(児)支援施設の充実							
区分	区分 必要性		非常に高い	効率性		普通		_				
	方向性(第-	−次)	改善·効率化	改善、効率化の	内容	改良剿	略	方向性(第二次)_				
対象	障害者											
事務事業目的				創作的活動、生 生活を支援します		動の機会の技	是供、社	会との交流の便宜を供与	すること等によ			
事務事業内容		スポーツ、レクリエーション、料理、工作等の創作的活動や、近隣の企業から請け負う各種の組立等の生産活動、社会生活の適応を高めるためのボランティア活動や地域との交流会などを通じて、日常生活に必要な能力を身につけ、社会参加や経済的自立を促進します。										
5	実施形態	全部	委託									
		生産に	的活動の年間延	べ人数								
Б	<b>成果指標</b>	<b>令和元年度実績:</b> 6,266人										
		(活動指標1) 年間延べ利用者数										
j	舌動指標											
		<b>令和元年度実績:</b> 11,627人										
				事業	コスト	計算						
事務事	事業費予算額	45,475,000 円 <b>R1 事務分担表による「事務に係る人数」</b> 0.10 人										
事務事業費決算額			45,	474,321 円		R2 事務分	担表によ	る「事務に係る人数」	0.10 人			
予定征	直				_	確定値			'			
直接事	<b>事業費</b>		45,	475,000 円		直接事業費	i	45,4	474,321 円			
人件	ŧ			824,240 円		人件費		808,640 F				
総額			46,	299,240 円		総額		46,2	282,961 円			
見						妾した2事業所について、事業内容を整理見直しを行い、一方 上サービスの充実を図るとともに、委託事業の効率化を図った。						
事	内部要因 外部要因	(強み) 精神障害者の支援をする法人に委託し、専門職による相談、支援ができている。 (ニーズ) 精神保健に関する相談が増えているが、委託した専門相談員により困りごとが明らかになってい										
務												
事	必要性											
業	効率性	精神障害者の社会復帰を促す事業であることから、高い専門的ノウハウを有する法人による現行の実施 制は効率性が非常に高い。							現行の実施体			
評		地域活動支援センターの質の向上として、利用者に対して、創作的活動や生産活動を行うことで、社会参										
価	方向性 加の意義と充実感を実感させ、その交流の中で社会生活の適応を高められる機会を提供で 職員が研修等に参加し、利用者への適切な見立てができるようスキルアップを行う。						きるよう、施設					
	-	*************************************										

所属 福祉こども部 障害者福祉課

				,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,							
事務	241616	障害者相談支援事	業								
事業	事業区分	実施計画事業	施策体系	241630 相談支	援体制の充実						
区分	必要性	非常に高い	効率性	高い							
	方向性(第一	<mark>⁻次)</mark> 改善·効率化	改善、効率化の内容	強化戦略	方向性(第二次)						
対象	障害者										
事	務事業目的	障害のある方に対する相談対応、サービス情報の提供、サービス等利用計画の策定とモニタリングなど、地域において総合的かつ継続的な支援が行える相談体制の整備を図ります。									
事務事業内容		談支援を行うとともに		ーに配置した総合支援	し、利用者一人ひとりのニー シューディネーターが地域の相 りります。						
3	実施形態	全部委託									
J	<b>成果指標</b>	延べ支援件数	40.704 <i>l</i> #								
;	舌動指標	令和元年度実績: 40,794件 (活動指標1)相談支援を利用している実人員									
		令和元年度実績:									
			事業コス	計算							
事務	事業費予算額	45	5,320,000 円	R1 事務分担表によ	る「事務に係る人数」	0.88 人					
事務事業費決算額			5,053,321 円	R2 事務分担表によ	0.79 人						
予定值	首			確定値							
	<b>事業費</b>	45	5,320,000 円	直接事業費	45,0	53,321 円					
人件習	1		7,253,316 円	人件費	<u> </u>	88,259 円					
総額			2,573,316 円	総額	<u> </u>	41,580 円					
見直し実績		コーディネーター委託業務において、従事日数を週2日(年間104日)から週2.5日(年間130日)に増加し、指導機能を強化し、相談者対応の充実をはかった。									
事	内部要因 外部要因	(強味) 基幹相談支援センターを設置することによりで、煩雑になりがちな障害者相談の初期窓口と位置づけ、すべての障害に対応し、関係機関へ繋げている。 (ニーズ) 障害者の相談が多岐にわたっている。									
務事	必要性	障害のある方に対して、障害情報に応じた対応をするとともに、多様で複合的な「困りごと」をもつ方からの相 談も増えていることから、相談支援事業の必要性が高くなってなっているため、様々なニーズに応じて確実に相 談対応を実施していく必要がある。									
業	効率性	様々な障害の状況に対応するため高い専門性を有する法人に委託し、効率的な相談支援に結びついている。									
評価	方向性	障害のある方に対しては、継続的な相談支援が必要であり、事業を引き続き進めていくためにも、障害者にたいする相談及び、支援の見立てができる人材の確保や、相談員の養成研修への参加、コーディネータの助言や指導により相談員の質の向上を図る。									